

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2年		
教科等名	理科	グループ名	学年		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について理解を深める。 ・科学的な体験や自然体験を通して、身の回りの生活と結び付けて考える力を養う。 ・自然の事物・事象に進んで関わり、科学的知識を生活に活かす態度を養う。 				
担当教員	○森脇 光司 手塚 秀樹 小林 加奈子 萩野 美咲 池原 萌				
予定授業時数	16				
使用教科書	改訂新版 暮らしに役立つ理科				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・電流のはたらき ・電気の利用 ・自然エネルギー 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの電池 ・電流の特徴を生かした製品 ・電気を安全に使うポイント ・身の回りの電化製品 ・様々な発電方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・電化製品について基礎的な知識を得ることができる。 ・実験や観察における初歩的な技能を身に付けることができる。 ・太陽光発電や水力の活用について学習し、考えたことや経験したことを発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外で実験や観察を行う場合は、生徒が主体的に活動できる場所を選定する。 ・視覚支援を活用し、立体的に理解する場面では、タブレット端末を始めとしたICT機器を活用する。 ・実験の手順やワークシートを統一する。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の利用 ・自然エネルギー ・生物と環境 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの電化製品 ・様々な発電方法 ・自然エネルギー ・地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察における初歩的な技能を身に付けることができる。 ・太陽光発電や水力の活用について学習し、考えたことや経験したことを発表することができる。 ・様々なエネルギーについて学び、身の回りの生活と結び付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外で実験や観察を行う場合は、生徒が主体的に活動できる場所を選定する。 ・視覚支援を活用し、立体的に理解する場面では、タブレット端末を始めとしたICT機器を活用する。 ・実験の手順やワークシートを統一する。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー ・生物と環境 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー ・生物と空気のつながり ・地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電や水力の活用について学習し、考えたことや経験したことを発表することができる。 ・様々なエネルギーについて学び、身の回りの生活と結び付けることができる。 ・地球温暖化対策について考え、自ら行動できることを発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援を活用し、立体的に理解する場面では、タブレット端末を始めとしたICT機器を活用する。 ・実験の手順やワークシートを統一する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。